

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

| | | | | | | | |
|---------------------------------------|--|----------|----------------|------------------------------------|------|----------|-------------|
| 事業名 | 再生可能エネルギー導入拡大に向けた 系統整備等調査事業 | | 担当部局庁 | 地球環境局 | | 作成責任者 | |
| 事業開始・ 終了(予定)年度 | 平成25年度 | | 担当課室 | 地球温暖化対策課 | | 調整官 神谷洋一 | |
| 会計区分 | エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定) | | 施策名 | 1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制 | | | |
| 根拠法令 (具体的な 条項も記載) | 特別会計に関する法律第85条第3項第1号ホ 特別会計に関する法律施行令第50条第7項第9号 | | 関係する計画、 通知等 | エネルギー基本計画、科学技術基本計画、 京都議定書目標達成計画 | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内) | 風力発電の導入適地は、電力の需要地から離れており送電網が脆弱な地域が多く、風力による発電電力を系統に送ることが困難であり、風力発電の導入拡大のためには、系統整備により送電可能量の拡大が不可欠。 風力発電のための送電線の整備手法やこれによる導入可能量の拡大を検討することで、送電網整備による風力発電の最大限の導入に貢献することを目的とする。 | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以 内。別添可) | 今後特に導入拡大が見込まれる風力発電等の再生可能エネルギーのための送電線を対象として、具体的な送電線の整備可能地域の検討、効率的な建設工法の検討等を行う。 これにより、再生可能エネルギーの導入拡大のための系統整備に向けた知見を集積し、風力発電等再生可能エネルギー導入検討地域において活用されることで、送電網整備による風力発電等の最大限の導入に資する。 | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | |
| 予算額・ 執行額 (単位:百万円) | | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | |
| | 予 算 の 状 況 | 当初予算 | - | - | - | - | 300 |
| | | 補正予算 | - | - | - | - | - |
| | | 繰越し等 | - | - | - | - | - |
| | | 計 | - | - | - | - | 300 |
| | 執行額 | - | - | - | - | - | |
| 執行率(%) | - | - | - | - | - | | |
| 成果目標及び 成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 目標値 (年度) |
| | 再生可能エネルギーの導入拡大のための系統 整備に向けた知見の集積を通じた系統整備の 促進 | 成果実績 | - | - | - | - | - |
| | | 達成度 | % | - | - | - | - |
| 活動指標及び 活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 年度活動見込 |
| | 委託調査による知見・情報の集積 | 活動実績 | - | - | - | - | - |
| | | (当初見込み) | - | - | - | - | (-) |
| 単位当たり コスト | — (円/) | | 算出根拠 | 定量的な成果実績を示せないため、算出困難。 | | | |
| 平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳 | 費目 | 24年度当初予算 | 25年度当初予算 | 主な増減理由 | | | |
| | 二酸化炭素排出抑制 対策事業等委託費 | - | 300 | 入替要求による新規要求 | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 計 | - | 300 | | | | | |

| 事業所管部局による点検 | | | |
|--|--|--|---|
| | 評価 | 項目 | 評価に関する説明 |
| 目的・予算の状況 | ○ | 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 | 風力発電の導入適地は、電力の需要地から離れており送電網が脆弱な地域が多く、導入拡大のためには系統整備による送電可能量の拡大が不可欠。また、送電網整備地域の検討、送電線の整備手法やこれによる導入可能量の拡大を検討するなど最大限の導入を図るには国が実施することが適切である。 |
| | ○ | 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。 | |
| | — | 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 | |
| 資金の流れ、使途・費目 | — | 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 | — |
| | — | 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 | |
| | — | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | — | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | |
| | — | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |
| 活動実績、成果実績 | ○ | 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 | 風力発電等の導入拡大のためには、系統整備による送電量の拡大が不可欠であり、送電網整備地域の検討、送電線の整備手法やこれによる導入可能量の拡大を量を検討することが重要である。 |
| | — | 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 | |
| | — | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | |
| | — | 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 | |
| | — | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | |
| 点検結果 | 風力発電の導入拡大のため、具体的な送電線の整備可能地域及び効果的な送電線の建設等の知見・情報を収集する。 | | |
| 予算監視・効率化チームの所見 | | | |
| | | | |
| 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等) | | | |
| | | | |
| 補記 | | | |
| | | | |
| 関連する過去のレビューシートの事業番号 | | | |
| 平成22年行政事業レビュー | — | 平成23年行政事業レビュー | — |